

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 3 地区自治振興会長 (3)
- 公民館長 (1)
- 地域コーディネーター (3) ※各地区 1 名
- 地域ボランティア (2)
- 主任児童委員 (1)
- 育友会会長・副会長 (2)
- 校長・教頭・教務主任・生徒指導主事 (4)

計 16 名

※地域コーディネーター (3 名)

- ・ 保護者OB (1 名)
- ・ 自治振興会健康推進部長 (1 名)
- ・ 元公民館長 (1 名)

### (2) 協議会の内容

- 開催回数 3 回
- 開催日程 7 月、12 月、3 月  
※ 3 月は資料送付のみ
- 協議内容
  - ・ 学校の取り組みについて
  - ・ 地域の学校としてのあり方について
  - ・ 地域と進める体験推進事業について
  - ・ 学校の取り組み全般の評価と次年度の学校運営の計画
  - ・ 小中の連携について
  - ・ 学校評価について

### (3) 協議会における成果と課題

- 「家庭・地域・学校協議会」のメンバーに地域コーディネーターが入っていることにより、打合せの時間を確保できている。
- 各地区の自治振興会会長や公民館長の意見を、地域コーディネーターも直接聞くことができるため、活動の広げることができた。
- 地域代表の協議会委員が変更になった場合、これまでの経緯やつながりを再構築していく必要性がある。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

生徒が積極的に地域の活動に参加し、地域の実態に応じた企画の提案や地域の方々と交流する体験を通して、地域に感謝する心を育てるとともに、将来、自分が地域に貢献しようとする意欲を高める。

### (2) 活動の実際

#### ① 地区体育祭の運営を支援

6 月 2 日 (日) に開催された南地区体育祭に 1 年生が参加し、競技準備や審判記録などの係として運営支援を行った。

事前に学校で体育協会の方と打ち合わせを行っていたため、生徒が自分の役割を認識し、自覚した行動をとることができた。自分の役割の合間に競技種目に個人参加する生徒も見られたほか、リレーに陸上部員がチームを作って参加し、圧倒的な速さで会場を盛り上げた。

#### ② ふれあいフェスタへの協力

6 月 16 日 (日) に地区のふれあいフェスタがあり、地域コーディネーターから運営支援の依頼があったため、急遽参加を決めた。残念ながら荒天のため中止となってしまった

が、参加依頼を快く引き受けてくれる生徒がいるなど、地域活動への積極性が見られるようになってきた。

### ③ 3 地区文化祭への協力

10月13日(日)・20日(日)に開催された校区内3地区の文化祭で、2年生が栽培し、収穫した黒米うどんを振る舞う予定であったが、13日(日)は台風の影響で、予定していた活動を縮小することになった。公民館主事と地域コーディネーターとの間でブースを設置する場所や開催時間等について話し合わせ、当日のブース設置や飾り付け、呼び込み等を参加生徒が行った。生徒は揃いのTシャツを着用して活動することで、地域の方から気軽に声をかけ

られ、お年寄りの方と楽しそうに会話する姿が見られた。また、育友会役員も昨年以上に参加し、黒米うどんの調理だけでなく、地域の方を生徒に紹介するなど、今まで以上に家庭と地域、学校が一体となった活動となった。



### ④ 地区体育活動へ参加

11月10日(日)に南地区自治振興会主催のスポーツ行事「みなリンピック」に男女バレーボール部員が参加し、パン食い競争や玉入れ、ソフトバレーボールを地域の方々と一緒にを行い、楽しい時間を共有した。

## (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地区体育祭の実行委員会へ参加し、当日の生徒の役割分担や担当者との調整を行った。
- ・地区文化祭の実行委員会へ参加し、事業内容の説明とブース設置場所の確保を行った。
- ・引率教員と連携し、参加生徒を掌握し、活動がスムーズに進むように配慮した。

## (4) 特に工夫した事項

- ・参加できる生徒数を確保するために、部活動顧問の了解を得て、事業活動への参加を優先することにしたが、大会等と日程が重なることがあり、文化部生徒への協力依頼を行った。
- ・参加する学年を3年間で全学年に広げ、活動を生徒主体のものへと変化させていくために、1年生の生徒に、年間の活動のいずれかに参加するように働きかけた。

## (5) 成果と課題

- かねてより中学生の地域活動参加を求める声があったが、調整や当日の指導などを地域コーディネーターが率先して行ってくれたおかげで、スムーズに活動を進めることができた。
- 学校評価アンケートにおいて、「地域の活動やボランティアに参加した」の問いに対する回答が、事昨年度よりも0.1pt 向上した。地域と進める体験推進事業の運営により、地域に出ることへのハードルが低くなってきていると考えられる。
- 地域の活動は日曜日に開催されることが多く、生徒や教員は土曜日の部活動、日曜日の地域行事と連続して参加することになるため、休日の部活動等のあり方を考える必要がある。